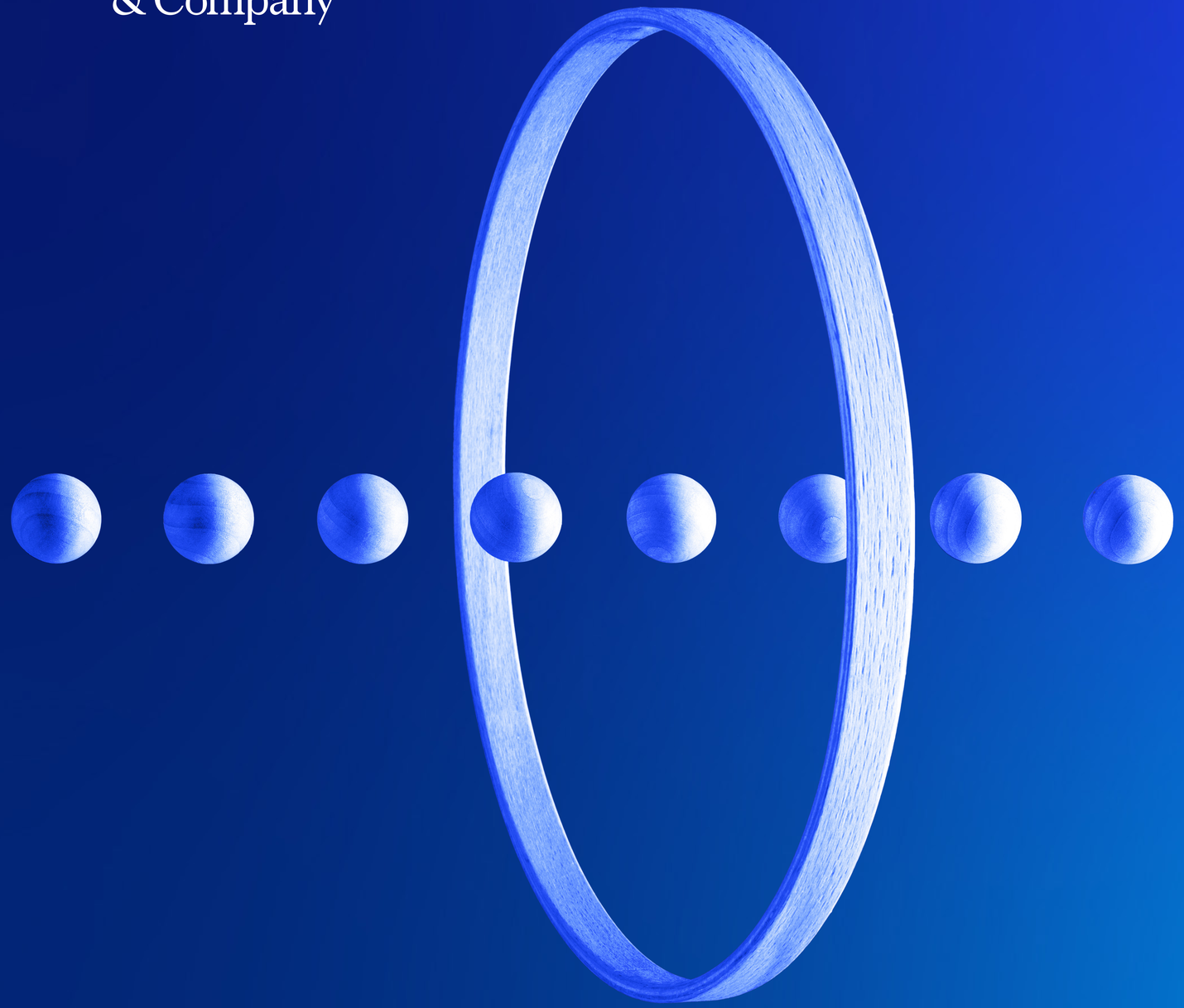
McKinsey & Company



第三者行動規範 2026

マッキンゼーの最高調達責任者および最高倫理・コンプライアンス責任者からのメッセージ



マッキンゼーは、創業以来100年に及ぶ歴史の中で、常に私たちのパーパス、ミッション、バリューを基盤として歩んできました。これらを重要な柱として、共通の目標の達成に向けて意義あるパートナーシップを築き、より良い社会の実現を目指し、常に正しい行動を追求してきました。世界やビジネス環境が絶えず変化する中にあっても、私たちは今後も、これらの理念を堅持し続けることを誓います。

第三者行動規範は、マッキンゼーが第三者の皆様と協働し、バリューチェーン全体で信頼を構築・維持するための原則を示したものです。マッキンゼーが自ら実践している、卓越性、誠実性、相互尊重の基準を反映しており、協働いただく皆様にも、同等の基準を共有し、共に実践いただくことを期待します。また本規範は、クライアントおよび地域社会に対して、そして協働するすべての関係者の間で果たすべき、共通のコミットメントを示すものでもあります。

第三者の皆様に本規範の原則を実践いただくことで、私たちの協働関係がさらに深まり、サプライチェーンの強靭性が高まり、ひいては世界にプラスの影響をもたらすことができます。マッキンゼーは、私たち自身に求めているのと同様に、すべての第三者の皆様にも、本規範に示された価値観を理解し、共感し、尊重していただくことを期待します。

皆様のご協力とパートナーシップに、
心より感謝申し上げます。

スコット・パリス (Scott Parris) 最高調達責任者

ダニエル・トルヒージョ (Daniel Trujillo)
最高倫理・コンプライアンス責任者

はじめに

マッキンゼー・アンド・カンパニー (以下、「マッキンゼー」)は、調達および事業運営において、最高水準の誠実性、社会的責任、法令遵守、説明責任を堅持することを約束しています。マッキンゼーは、当社に製品やサービスを提供するすべての第三者の皆様にも、同様の基準に基づいて活動いただくことを期待します。

この第三者行動規範 (以下、「本規範」)は、第三者が事業活動を行う際に、マッキンゼーが期待する行動基準を明確に示したものです。第三者の皆様には、マッキンゼーが自らの事業運営において遵守しているのと同等の、誠実性、法令遵守、責任ある事業慣行の基準を維持していただくことが求められます。また、本規範および事業を行う地域におけるすべての適用法令・規制を遵守するとともに、関係当局にも協力していただく必要があります。

さらに、自社のサプライチェーン全体においても、同等の基準を適用いただくことが期待されています。契約で定められている場合、第三者の皆様は、自社の従業員、請負業者、コンサルタント、代理人が、本規範およびマッキンゼーが適用しているその他の方針を理解し、遵守できるよう、必要な方針、手続き、監視体制を整備しなければなりません。

第三者の定義

本規範において「第三者」とは、マッキンゼーが取引関係を開始もしくは維持する、あるいは事業目的で起用する外部の組織または個人 (マッキンゼーに直接雇用されている者を除く)を指します。第三者には、例えば、サプライヤー、請負業者、コンサルタント、代理人、仲介業者、販売代理店、関連会社、その他のビジネスパートナーなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、「労働者」とは、第三者の従業員または下請業者を指します。



第三者行動規範の基本原則

マッキンゼーの第三者行動規範は、4つの基本原則に基づいています。これらは、マッキンゼーのあり方と、マッキンゼーがパートナーに期待することを反映した、明確かつ不可欠な基準です。これらの原則は、誠実性、説明責任、そして共通の目的意識をもって協働するための指針となります。

正しい行動をとる →

- 贈収賄および汚職の禁止
- インサイダー取引の禁止
- 貿易管理および制裁措置の遵守
- 個人のプライバシー保護
- 正確かつ完全な記録の維持
- 利益相反の回避
- 違反の可能性の報告
- 報復の禁止

テクノロジーおよびデータを適正に利用する →

- 機密情報の保護およびデータの安全な管理
- テクノロジー資産の責任ある利用

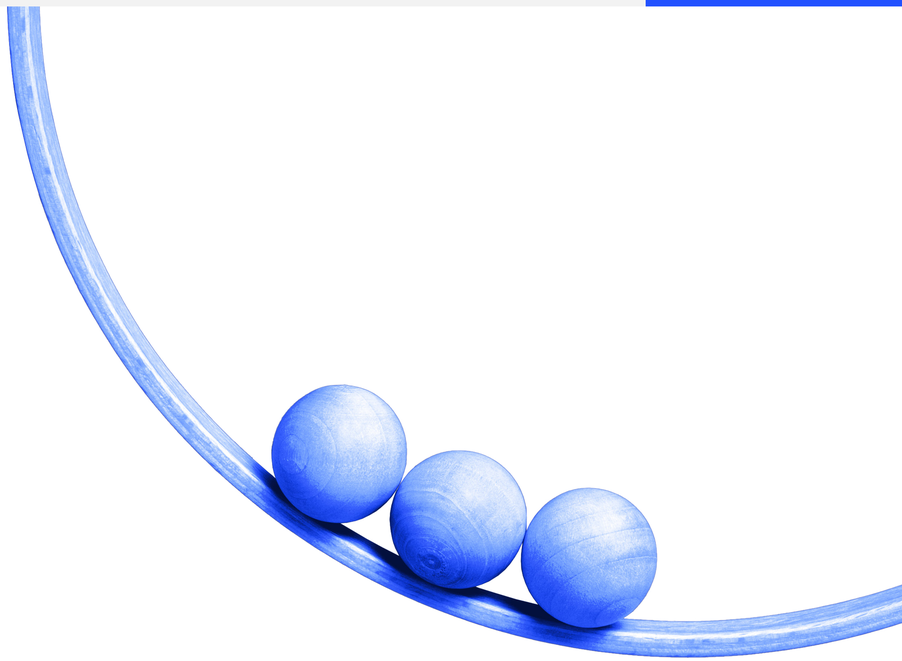
互いを尊重する →

- ハラスメントおよび差別のない職場環境の構築・維持
- 責任あるコミュニケーション
- 安全な職場環境の確保
- 現代の奴隷制および人身取引の禁止
- 雇用関連法令の遵守
- 労働者の移動の自由の尊重
- 民間および公的な警備要員に対する適切な監督

地域社会への影響を考慮する →

- インクルーシブ調達の推進
- 環境の持続可能性の追求

正しい行動をとる



マッキンゼーは、最高水準の倫理基準を堅持し、適用されるすべての法令、規則、規制を遵守することを約束します。

贈収賄および汚職の禁止 →
インサイダー取引の禁止 →
貿易管理および制裁措置の遵守 →
個人のプライバシー保護 →
正確かつ完全な記録の維持 →
利益相反の回避 →
違反の可能性の報告 →
報復の禁止 →

贈収賄および汚職の禁止

マッキンゼーは、いかなる形態・金額であっても、またいかなる個人との間でも、賄賂の申し出、約束、収受、要求、支払いを行うこと、またはこれらの行為を試みることはありません。また、マッキンゼーの代理として、第三者にこのような行為を求めることも一切ありません。マッキンゼーと協働する場合、あるいはマッキンゼーに代わって業務を行う場合、第三者にも同様の姿勢と行動を求めます。

第三者は、米国海外腐敗行為防止法(FCPA)および英国贈収賄防止法を含む、贈収賄防止および腐敗防止に関するすべての適用法令を完全に遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者が自社およびその下請業者や代理人による腐敗防止法の遵守を確保するため、適切な手続きおよび内部管理体制を整備するよう合理的な努力を払うことを期待します。

いかなる形態の贈収賄も禁止

第三者は、いかなる形態・金額であっても、またいかなる個人との間でも、賄賂の申し出、約束、供与、要求、収受を行ってはなりません。マッキンゼーは、いかなる形態の腐敗行為も一切許容しません。第三者は、贈収賄、不正行為、マネーロンダリング、または不当な事業上の利益を得ることを目的とした、いかなる行為にも関与してはなりません。同様に、第三者は、マッキンゼーの代理として他者が不正行為を行うことを許可、助長、支援したり、これらの行為を試みたりしてはなりません。

贈収賄には多様な形態があります。例えば、現金や金銭的価値のあるもの (旅費、食事、贈答品、ギフトカードなど)を提供する行為が挙げられます。また、雇用やインターンシップ(無給の場合を含む)の提供または約束、慈善寄付の実施、研修・知識共有イベントへの招待、リサーチ支援やプロボノサービスの提供、正式な契約関係の枠外での便宜提供なども、贈賄と見なされる場合があります。

ファシリテーション・ペイメントの禁止

第三者は、いかなる形態であっても、ファシリテーション・ペイメントを行ってはなりません。ファシリテーション・ペイメントとは、政府職員などに対し、定型的または非裁量的な手続きを迅速または確実に処理してもらうことを目的として支払う金銭を指します。ファシリテーション・ペイメントの例としては、ビザなどの行政書類の処理や通関手続きの完了のために、政府職員に非公表の手数料を支払う行為などが挙げられます。

マッキンゼーの代理としての政治献金および慈善寄付の禁止

第三者は、マッキンゼーの代理として、政治献金や慈善寄付を行ってはなりません。第三者が、マッキンゼーの代理として政治献金や慈善寄付を行うよう依頼を受けた場合は、その依頼を断り、速やかにマッキンゼーへ報告しなければなりません。

マッキンゼーの代理としての贈答品、食事、接待、旅費などの提供禁止

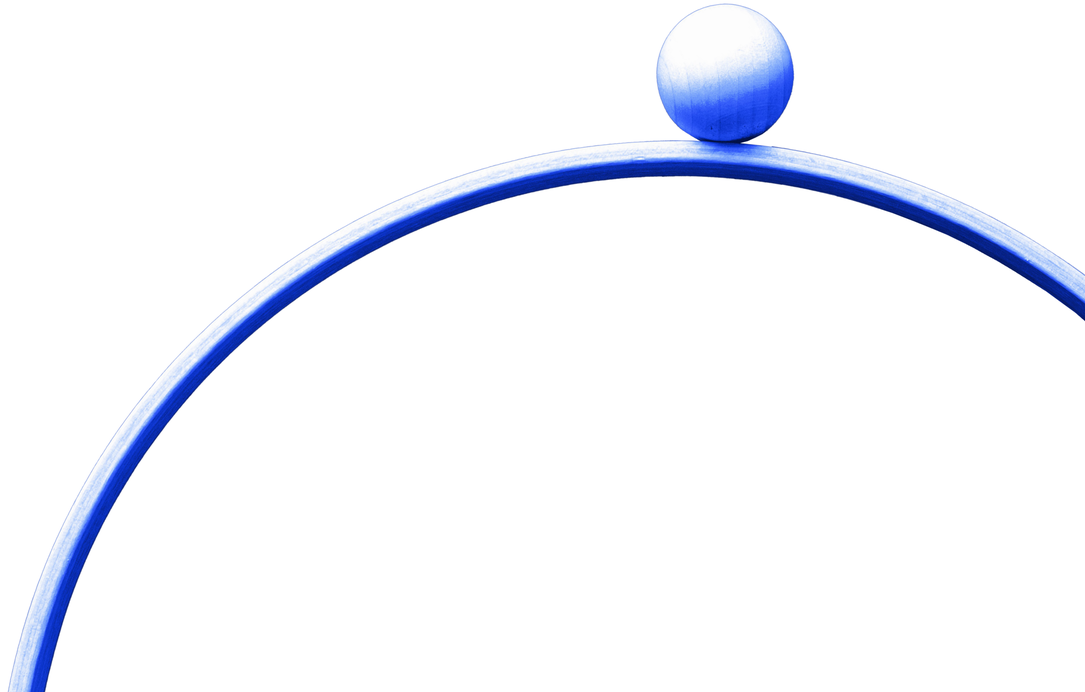
第三者は、マッキンゼーの代理として、クライアントまたはその他の第三者に対して、贈答品、食事、接待、旅費などを提供してはなりません。例外的にやむを得ない場合は、マッキンゼーのスポンサーまたは窓口へ連絡し、事前に承認を得た上で、マッキンゼーの腐敗防止要件を遵守する形で実施する必要があります。

インサイダー取引の禁止

第三者は、情報の入手経路を問わず、インサイダー情報に基づいて、いかなる企業(マッキンゼーのクライアントを含む)に関する証券 (株式、社債、その他の金融商品を含む)の売買その他の取引や、予測市場プラットフォーム上での活動を行ってはなりません。また、そのような情報に基づいて、他者に取引や活動を推奨したり、情報を共有したりしてはなりません。

貿易管理および制裁措置の遵守

第三者は、貿易および経済制裁に関するすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。



個人のプライバシー保護

マッキンゼーは、プライバシーおよび個人データの保護において、世界最高水準を堅持することを約束しており、第三者にも同等の姿勢および基準を求めます。

第三者は、個人データを収集、利用、保存、移転、保持、廃棄する際には、プライバシーおよびデータ保護に関するすべての適用法令を遵守し、合法的、倫理的かつ安全な方法で行わなければなりません。個人データは、本来の目的の範囲内でのみ利用し、不正アクセスから保護し、必要な期間に限り保持し、不要となった時点で適切に廃棄しなければなりません。第三者は、常に個人のプライバシー権を尊重し、その権利を行使しようとする個人からの要請に適切に対応するとともに、必要に応じて、当該要請への対応においてマッキンゼーに協力しなければなりません。

機密情報および個人情報の利用・共有は、マッキンゼーとの契約で許可された範囲内に限られます。

個人データの安全性を脅かすデータ侵害やその他のインシデントが疑われる場合、またはその可能性を認識した場合は、所定の報告窓口を通じて直ちにマッキンゼーに通知し、その後の調査や是正措置に協力しなければなりません。

正確かつ完全な記録の維持

記録を正確かつ透明性の高い方法で管理することは、健全なビジネス関係を築く基盤であり、法的、財務的、規制上の義務を果たすために不可欠です。マッキンゼーは、すべての業務文書や報告書において、第三者がマッキンゼーと同水準の高い誠実性を堅持することを期待します。

第三者は、マッキンゼーとの業務に関するすべての記録 (オンボーディング情報、請求書、精算書、作業時間記録、規制関連の提出書類、その他の業務文書など)について、適時に、事実に即して正確かつ判読可能な形で、漏れなく作成・管理しなければなりません。

法令および契約条件の遵守

すべての記録管理は、適用される法令、業界規制、および第三者とマッキンゼーとの契約条件に準拠して行わなければなりません。

利益相反の回避

第三者は、マッキンゼーに紹介された時点で、実際または潜在的な利益相反が存在する場合には、これを申告しなければなりません。また、契約期間中に新たな利益相反が発生した場合や、それを認識した場合には、速やかにマッキンゼーに報告しなければなりません。利益相反には、第三者による個人的、職業上、財務上、その他の活動 (取締役会の役職、アドバイザリー職、コンサルティングサービス、学術上の職務、仲裁人や専門家証人としての活動など)や、第三者が新たに行おうとする活動のうち、マッキンゼーの利益と相反する可能性があるものが含まれます。利益相反には、第三者またはその所有者、取締役、役員、従業員、その他の人員が、マッキンゼーの従業員、あるいは同一の契約に基づきマッキンゼーへのサービス提供に関与する他の第三者の所有者、取締役、役員、従業員、その他の人員との間に有する、恋愛関係、身体的関係、親族関係、その他の親密な個人的関係も含まれます。

違反の可能性の報告

第三者は、法令または本規範に違反する可能性を認識した場合、速やかにマッキンゼーに報告しなければなりません。

報告が必要となった際には、マッキンゼーの正式な報告窓口「Got a Concern? (懸念がありますか?)」を通じて、法令の範囲内で匿名かつ機密情報として届け出ることができます。詳細は、マッキンゼーの「Got a Concern? (懸念がありますか?)」ウェブページをご確認ください。また、第三者は、マッキンゼーに関する召喚状、監督当局からの照会、報道関係者からの問い合わせ、またはその他の第三者からの要請を受けた場合、法令で認められる範囲で、速やかにマッキンゼーに伝達しなければなりません。

報復の禁止

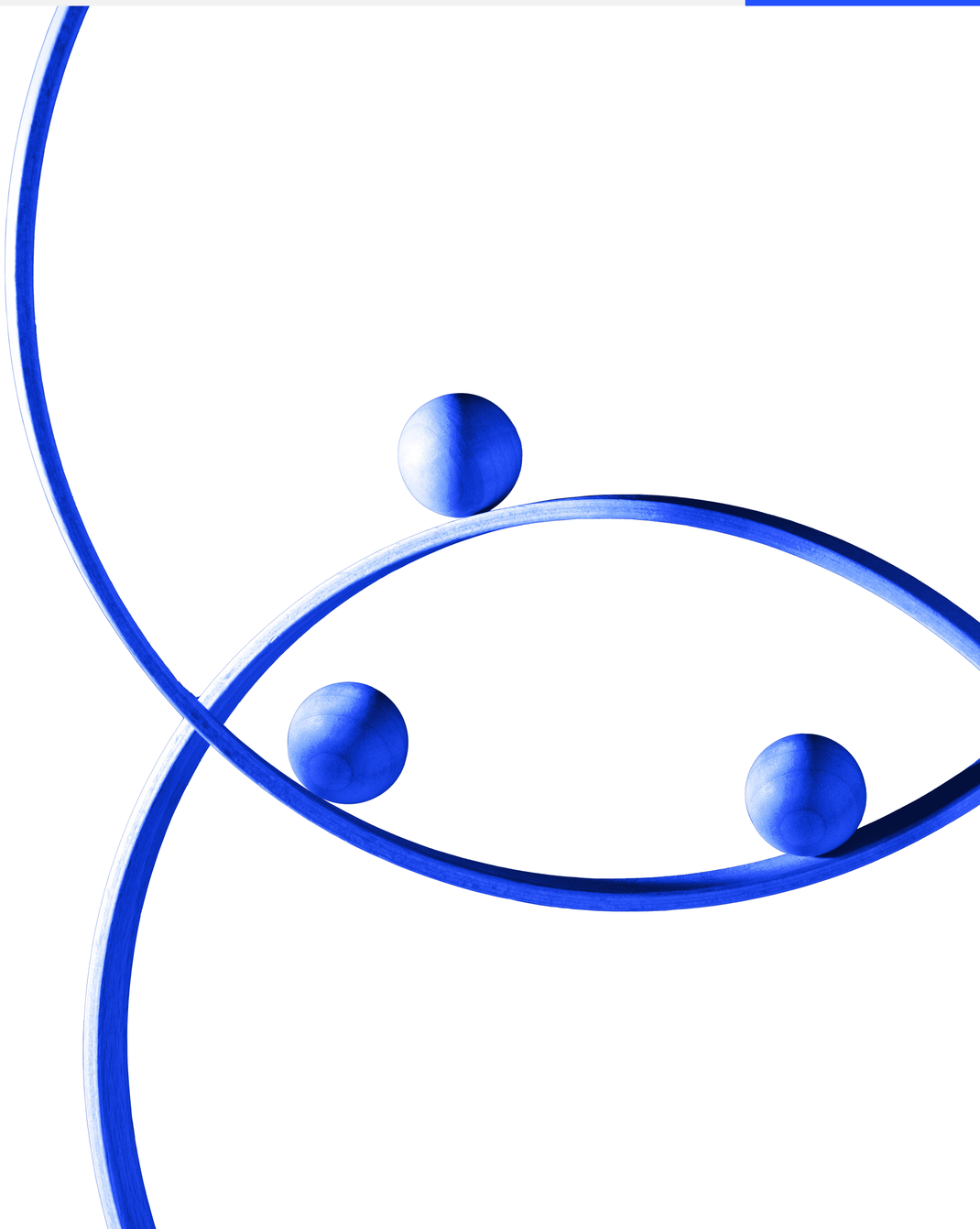
マッキンゼーは、第三者において職場での懸念を報告できるよう、適切な方針および手続きが整備されていることを期待します。この方針および手続きは、透明性があり、理解しやすい内容であることが望まれます。また、報告者および関連する調査に参加する者を、報復や不利益な扱いから保護するものでなければなりません。第三者は、不正または違法と考えられる行為について誠実に報告もしくは問い合わせを行った者、またはそのような行為に関する調査や手続きに参加した者に対する報復を禁止しなければなりません。

テクノロジーおよびデータを適正に利用する

第三者は、機密情報・資産の安全を確保し、従業員、顧客、取引先などの個人のプライバシーを保護しなければなりません。

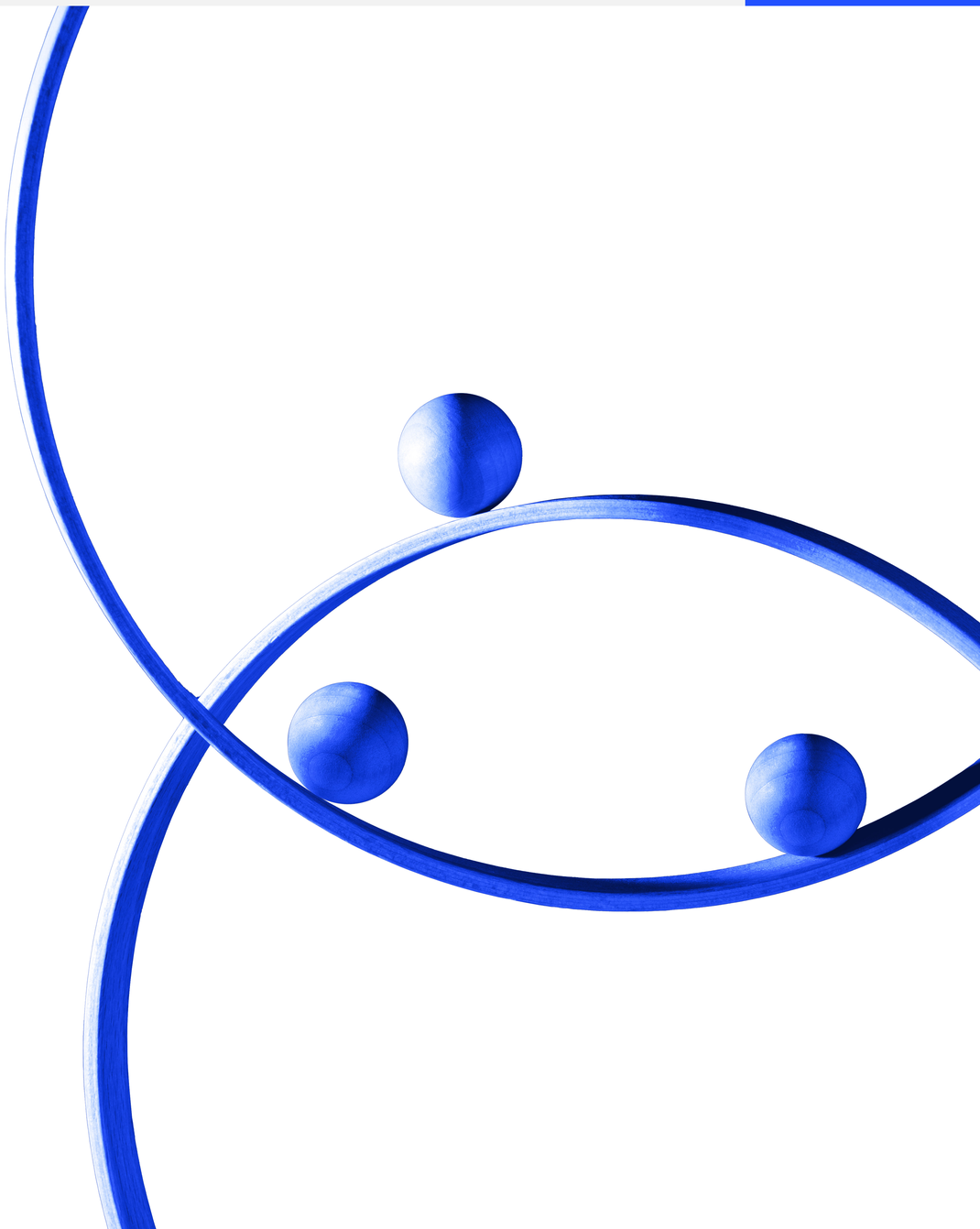
機密情報の保護および
データの安全な管理 →

テクノロジー資産の責任ある利用 →



機密情報の保護およびデータの安全な管理

第三者は、マッキンゼーおよびそのクライアントの機密情報・資産 (物理的、デジタル、財務的、評判に関する情報、個人データなど)を、すべての適用法令および契約上の義務に従い、適切に保護しなければなりません。これには、不正アクセス・使用、開示、紛失、改ざん、破壊を防止するための措置の導入および維持が含まれます。機密情報の利用・共有は、マッキンゼーとの契約で許可された範囲内、または法令に基づく場合に限られ、マッキンゼーの事前の書面による承認なしに開示してはなりません。これらの義務は、契約期間中および契約終了後も引き続き適用されます。第三者は、マッキンゼーに提供するサービスに関連して起用する下請業者、サービスプロバイダー、その他の下流の関係者にも、プライバシー保護、機密保持、セキュリティに関する適切な基準を維持させる責任を負います。



テクノロジー資産の責任ある利用

第三者は、マッキンゼーのテクノロジー、データ、システムを利用する際には、マッキンゼーの適正利用基準を完全に遵守しなければなりません。これらの基準は、データの完全性およびシステムの安全を確保し、マッキンゼーのグローバルネットワーク全体の信頼性を維持するために定められています。

システムおよびデバイスの適正利用

マッキンゼーのシステムまたはテクノロジー資産へのアクセスを付与された第三者は、承認された業務目的に限ってそれらを使用しなければなりません。これらを個人的な活動、違法な行為、または許可されていない用途に使用してはなりません。

資産の保護

第三者は、マッキンゼー所有のデバイスや情報の安全を確保し、盗難、誤用、偶発的な損傷を防止するために、適切な措置を講じなければなりません。

承認済みツールのみの使用

第三者は、マッキンゼーと業務を行う場合、またはマッキンゼーもしくはマッキンゼーのクライアントの情報を取り扱う場合、承認された通信チャネル、ソフトウェア、プラットフォームのみを使用しなければなりません。マッキンゼーのシステムを使用してマッキンゼーのデバイス上で業務を行う者は、業務上のコミュニケーションには、マッキンゼーが承認したメッセージングアプリケーション(マッキンゼーのEメール、Slack Connect、Teams Connect Chatなど)のみを使用しなければなりません。マッキンゼーが承認していないメッセージングアプリケーションをクライアント業務に使用する第三者は、当該メッセージを2029年12月13日まで自ら保存しなければなりません。

不正アクセスの防止

第三者は、機密情報、個人データ、システムを不正なアクセス、使用、開示から保護するため、強固なセキュリティ対策を講じるとともに、多要素認証、暗号化、安全なデバイス管理などの物理的、技術的、組織的な安全管理措置、ならびにプライバシースクリーンや作業スペースへの入退室管理などの物理的セキュリティ対策を適切に維持しなければなりません。

互いを尊重する

マッキンゼーはインクルーシブな企業文化を育んでおり、いかなる形態の違法な差別やハラスメントも容認しません。



ハラスメントおよび差別のない職場環境の構築・維持 →

責任あるコミュニケーション →

安全な職場環境の確保 →

現代の奴隷制および人身取引の禁止 →

雇用関連法令の遵守 →

労働者の移動の自由の尊重 →

民間および公的な警備要員に対する適切な監督 →

ハラスメントおよび差別のない職場環境の構築・維持

第三者は、差別、雇用慣行、ハラスメント、報復行為に関するすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。

第三者は、採用、昇進、研修、職務配置、賃金、福利厚生、懲戒、解雇などの雇用慣行において、人種、肌の色、年齢、性別、性的指向、出身国または民族的出自、市民権、障がい、妊娠、宗教、LGBTQI+であること、性自認または性表現、兵役に関する状況、婚姻状況、カースト、政治的所属、労働組合への所属、その他法的に保護される特性に基づいて、労働者またはその他の個人を差別してはなりません。さらに、第三者は、上記の特性を理由とする、またはそれに関連する言動によって、職場環境が敵対的、威圧的、または不快なものになることを容認してはなりません。

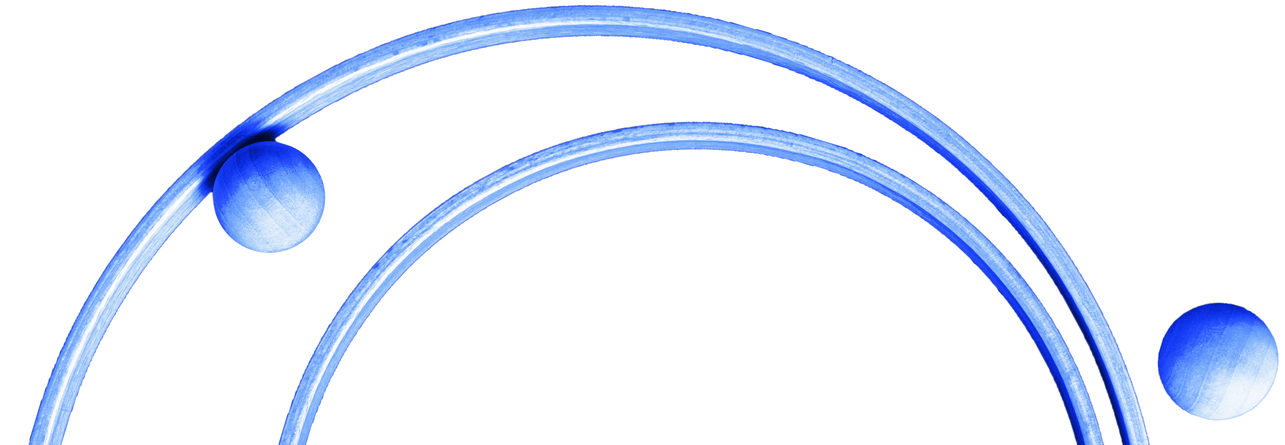


責任あるコミュニケーション

第三者の発言や文章は、重要な意味を持ちます。それは、皆様の専門性や誠実さを示すだけでなく、マッキンゼーの評判にも影響を及ぼす可能性があるためです。マッキンゼーの価値あるパートナーである皆様は、マッキンゼーのクライアントおよびマッキンゼーが皆様とのパートナーシップに寄せる信頼を守る重要な役割を担っており、そのためには、責任をもって、思慮深く、相手に配慮したコミュニケーションを行うことが求められます。

機密情報の保持

機密保持は、マッキンゼーのクライアントおよび事業を保護する上で極めて重要です。第三者は、マッキンゼーとの業務に関する詳細情報を含むすべての専有情報および機密情報を厳重に管理し、明示的な承認を得ていない限り、他者と共有してはなりません。また、明確かつ正当な業務上の必要性を持たない者と、クライアントやマッキンゼーに関する情報を共有してはなりません。



安全な職場環境の確保

マッキンゼーは、第三者が事業活動全体を通じて、法令に準拠した適切な安全衛生管理を実践することを期待します。

安全かつ健全な職場環境は、労働における基本的な原則であり、労働者の権利です。第三者は、労働安全衛生に関するすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーは第三者に対し、労働安全衛生上のリスクを最小限に抑え、労働災害の防止に努め、職場の安全に関するすべての適用法令・規制を遵守し、すべての労働者およびその他の第三者にとって安全で健康的な労働環境を確保するための取り組みを導入することを求めます。

現代の奴隷制および人身取引の禁止

マッキンゼーは、あらゆる形態の奴隷制、強制労働、人身取引を非難し、世界各地の事業活動およびサプライチェーンにおいて、こうした行為を一切容認しないことを約束します。第三者も同等の基準を遵守し、自社の労働者または代理として行動する者が、強制労働、児童労働、人身取引のいずれにも関与しないよう徹底しなければなりません。第三者は、英国現代奴隷法 (UK Modern Slavery Act, 2015)、カナダのサプライチェーンにおける強制労働及び児童労働防止法 (Canada Fighting Against Forced Labour and Child Labour in Supply Chains Act, 2023)、オーストラリア現代奴隷法 (Australian Modern Slavery Act, 2018)を含む、人権および奴隷制防止に関して適用されるすべての法的義務を遵守するとともに、自社の事業およびサプライチェーン全体でこれらの義務が確実に遵守されるよう、必要な取り組みを実施しなければなりません。

児童労働の禁止

第三者は、児童労働を利用してはならず、事業を行う国や地域において適用される法定の就業最低年齢要件を満たす労働者を雇用しなければなりません。

国際基準では、児童労働について、児童の健康や発達に有害な業務、過度な労働時間を課す業務、または低年齢の児童が行う業務と定義されています。「児童」とは、15歳または義務教育を修了する年齢のうち、いずれか高い方の年齢に達していない者を指します (就業最低年齢に関する適用法令で別段の定めがある場合を除く)。また、18歳未満の労働者を危険業務に従事させてはなりません。

人権の尊重

マッキンゼーは、国連グローバル・コンパクトの参加企業として、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則を始め、世界人権宣言、国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、および国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に賛同しています。マッキンゼーは、これらの原則を遵守するよう努めており、第三者にも同様の取り組みを期待しま す。

詳細は、McKinsey Human Rights Statement (マッキンゼー人権方針) をご参照ください。

マッキンゼーは人権の尊重に取り組んでおり、第三者にも、自社の事業およびバリューチェーン全体において、同様の姿勢をとることを求めます。マッキンゼーは、サプライチェーンのいかなる段階においても、いかなる形態の人権侵害も許容しません。第三者は、国際的に認められた人権基準を遵守し、すべての労働者を尊厳と敬意をもって扱わなければなりません。

結社の自由の尊重

マッキンゼーは、第三者が労働者の結社の自由に関する権利を尊重することを期待します。これには、現地の法令に従って労働組合や労働者評議会を結成またはそれらに参加し、団体交渉に加わる権利が含まれます。第三者は、労働者が報復、嫌がらせ、脅迫を受けることなく、これらの活動に自由に参加できる環境を確保しなければなりません。

雇用関連法令の遵守

第三者は、賃金、福利厚生、労働時間に関する法律を含め、雇用および労働に関するすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者に対して、労働に対する報酬が正しく支払われているかを確認できる、分かりやすい賃金明細書を適時に労働者に交付することを期待します。臨時労働者および外部委託労働者の利用は、すべての適用法令・規制に従って行わなければなりません。また、マッキンゼーは、第三者が生活賃金の支払いおよび賃金の公平性の促進に努めることを推奨します。

採用手数料の禁止

第三者は、採用過程のいかなる段階においても、労働者に対して採用手数料および関連費用の支払いを直接的または間接的に求めたり、許可したりしてはなりません。そのような費用の支払いが発覚した場合、第三者は速やかに当該労働者へ返金し、今後の法令遵守を徹底できるよう、再発防止措置を講じなければなりません。

雇用条件の通知

第三者は、労働者に対し、雇用開始前に労働条件を明示しなければなりません。その際、雇用契約書などの書面を用いることが望まれます。雇用条件は、雇用開始前に、労働者が理解できる言語で伝えるべきであり、少なくとも賃金に関する情報、労働時間、福利厚生を含める必要があります。

労働者の移動の自由の尊重

第三者は、法令で義務付けられる場合を除き、政府が発行した労働者の身分証明書、渡航書類、就労許可証などの原本を保管、破棄、隠匿したり、労働者がこれらの書類にアクセスすることを妨げたりしてはなりません。また、法令により保管が必要な場合でも、法的義務を果たすために必要な最短期間に限り保管しなければなりません。

第三者は、労働者が常に自身の個人書類を保持できるようにしなければなりません。第三者は、雇用者の管理下にある職場、施設、宿舎などにおいて、労働者の移動の自由を不当に制限してはなりません。第三者が労働者に住宅や移動手段を提供する場合は、安全で衛生的な環境を確保し、労働者のプライバシー、尊厳、および主体性を尊重しなければなりません。

民間および公的な警備要員に対する適切な監督

警備のために民間または公的な警備要員を雇用または利用する場合、第三者は、拷問および他の残虐な、非人道的な、または品位を傷つける取り扱い、個人の生命または身体の侵害、労働者の結社の自由の侵害を防止するために、これらの要員に十分な指導および監督を行わなければなりません。

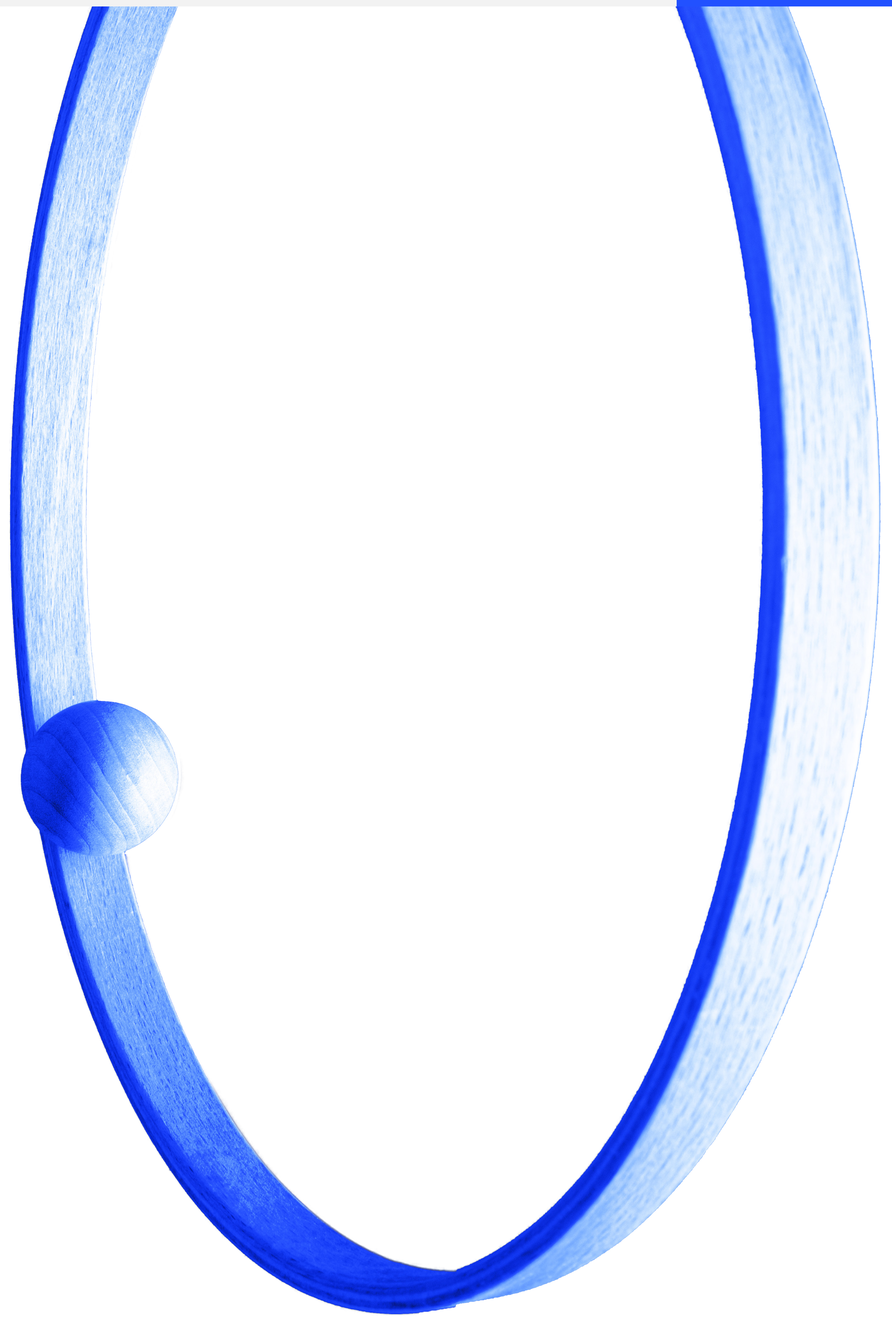


地域社会への影響を考慮する

マッキンゼーは、インクルーシブかつ公平な調達の推進に取り組んでおり、第三者にも持続可能な形で事業を運営し、環境関連のすべての適用法令・規制を遵守することを求めます。

インクルーシブ調達の推進 →

環境の持続可能性の追求 →



インクルーシブ調達の推進

マッキンゼーの調達プロセスは、公平なアクセスを促進するよう設計されています。その一環として、適格な小規模事業者や多様な属性の人々が所有する事業者に対し、マッキンゼーとの取引機会の検討を奨励しています。

マッキンゼーは、第三者に対して以下のことを期待します: (i) 公平で透明性の高い選定および評価プロセスを活用すること、および (ii) 調達チームが、すべての適格な第三者に対して公平な入札機会を提供すること。

環境の持続可能性の追求

第三者は、環境関連のすべての適用法令・規制を遵守しなければなりません。マッキンゼーは、第三者に対し、自社の環境リスクおよび影響に適切に対応することを求めます。また、第三者に対し、エネルギー使用量および温室効果ガス (GHG)排出量を測定・管理し、適切に対応するとともに、排出削減に向けた取り組みを実施することを求めます。さらに、該当する場合は、第三者が事業活動における水資源やその他の天然資源の使用量、および廃棄物の排出量を測定・管理し、その削減に取り組むことを期待します。加えて、第三者およびそのサプライチェーンは、有害廃棄物、残留性有機汚染物質、水銀などの物質の使用、取り扱い、処理、廃棄に関する適用法令を遵守しなければなりません。

マッキンゼーの権利

マッキンゼーは、第三者による本規範の遵守を確保し、その徹底を図るために、以下の権利を留保します。

第三者の選定

マッキンゼーは、第三者の評価、選定、オンボーディングプロセス、および第三者とマッキンゼーの取引期間中のいかなる時点においても、当該第三者の本規範の遵守状況を評価する場合があります。

第三者の評価および研修

第三者の評価は、マッキンゼーが国連グローバル・コンパクトおよびより広範な専門的基準へのコミットメントを実践し、サプライチェーン全体のリスク管理を支えるものです。また、第三者の評価は、環境の持続可能性、人権、労働、倫理など、本規範で扱うテーマに関して、サプライチェーンにおける負の影響を特定、防止、軽減し、その影響を把握・報告するとともに、是正につなげるためのデューデリジェンスにおいて、重要な役割を果たします。

オンボーディングの際、すべての第三者には、本規範または自らが定める同等の規範の遵守に同意することが求められます。また、一部の第三者には、年に一度、権限を有する代表者による本規範の内容を確認と同意が求められる場合があります。第三者は、要請があった場合、本規範の遵守に関する方針および取り組みについて、書面による情報の提供を求められます。

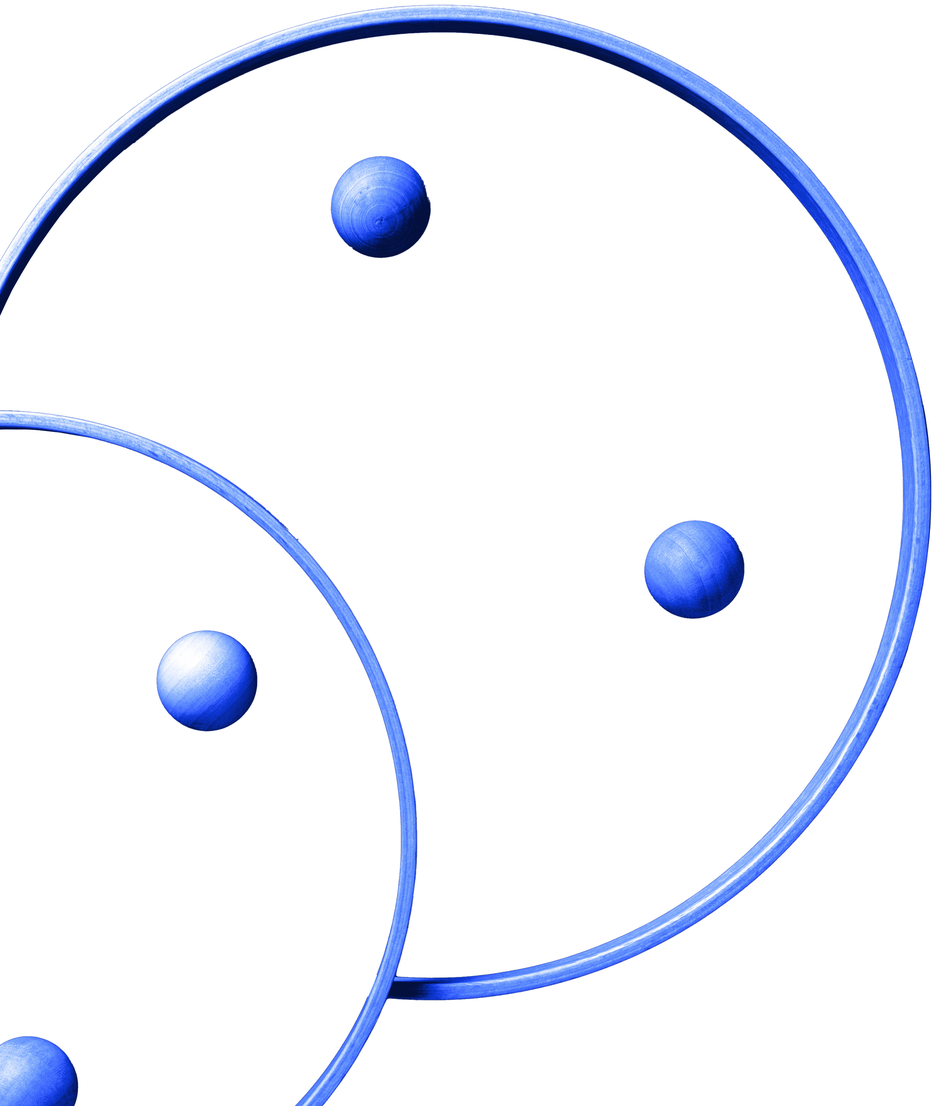
該当する場合、マッキンゼーは、第三者に対し、本規範またはその契約に関連するその他の要件に関する研修の受講を要請することがあります。第三者は、受講を求められた研修を所定の期間内に修了し、要請に応じて修了を証明するものを提出することが期待されます。

さらに、マッキンゼーは、本規範およびその他の関連事項への適合状況を確認し、継続的な改善を促進するため、特定の第三者に対し、証拠に基づく第三者機関のスコア評価を受けること、または、現地監査を受け入れることを求める場合があります。

マッキンゼーは、本規範で扱うテーマについて、第三者との協働でパフォーマンスの向上に取り組むことを約束します。また、必要に応じて、第三者に対し、本規範に関する課題およびその他の関連する課題に対して特定の是正措置を講じるよう求める場合があります。マッキンゼーは、第三者が自社に関連するテーマについて、マッキンゼーと共同で取り組むことに同意することを期待します。

不遵守、違反行為、および契約終了

第三者は、マッキンゼーに対する義務または約束を履行するために自社が起用するすべての第三者および労働者に対して、本規範を遵守させるか、または実質的に同等の義務を課すものとします。第三者は、自社が起用する第三者に関するものを含め、違反の可能性を把握した場合には、マッキンゼーに報告し、適切に対応しなければならないことを認識するものとします。本規範の不遵守または違反が発生した場合、当該違反が重大、是正不能、または法令違反に該当する場合を除き、マッキンゼーは、合意された是正措置を通じて問題を是正するための合理的な機会を第三者に付与することがあります。第三者が本規範または法令に違反した場合、マッキンゼーは当該第三者との取引関係を一時停止または終了する場合があります。法令違反があった場合、マッキンゼーは当該事案を関係当局にも開示します。



優先順位および本規範の改訂

本規範と適用法令との間に矛盾がある場合、第三者は法令を優先して遵守しなければなりません。本規範が適用法令を超える要件を定めている場合、第三者は、適用法令に抵触しない範囲でこれらの要件を遵守しなければなりません。マッキンゼーは、本規範の要件を更新または改訂する権利を留保します。

制定日: 2018年10月25日

初回改訂日: 2020年12月1日

最終更新日: 2026年10月6日